

## 自動運転バス実証実験の実施について

### 1 目的

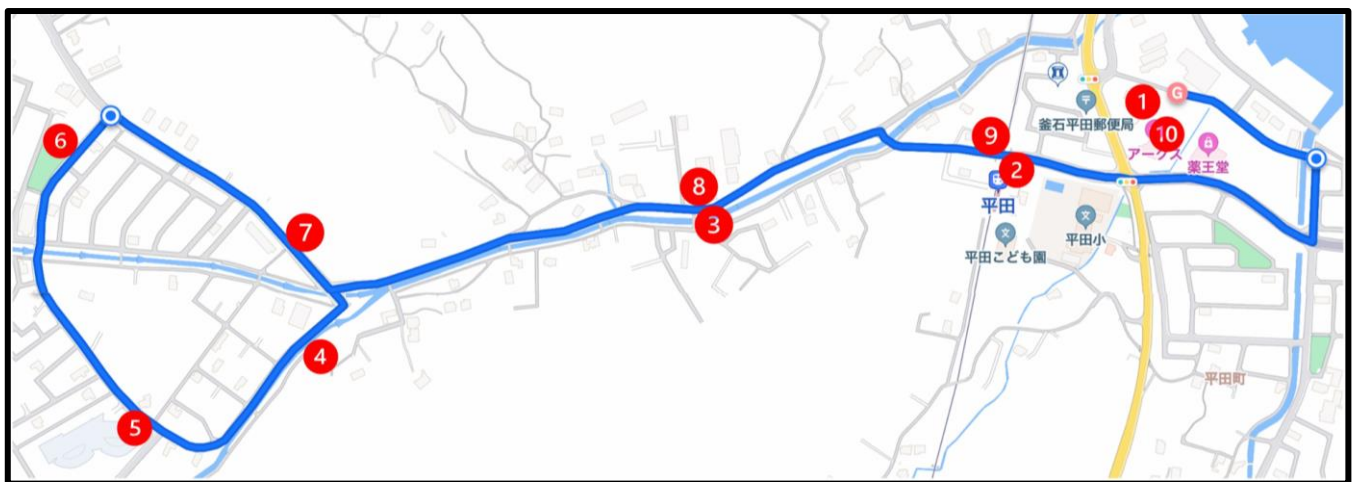
少子高齢化や人口減少が進む中、バス等の公共交通運転手の高齢化や人手不足が深刻化しており、地域公共交通の維持が困難となることが予想されています。当市においても喫緊の課題であるため、自動運転レベル4相当の運行を目指した自動運転技術の立証や社会受容性向上を目的とした実証実験を実施し、将来的な自動運転バスの社会実装に向けた検討を行います。

### 2 事業概要

- (1) 期 間 住民の方への乗車は8月上旬から下旬を予定  
※7月から実施に係る手続き等を行い、県警による審査等を経て実施
- (2) 走行ルート 約7km（上平田ニュータウン～みずかみ～平田復興住宅）
- (3) 運 賃 無料
- (4) 自動運転レベル レベル2（オペレーター同乗）
- (5) 備 考 国土交通省の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）」を活用し実証実験を実施

### 3 走行ルート

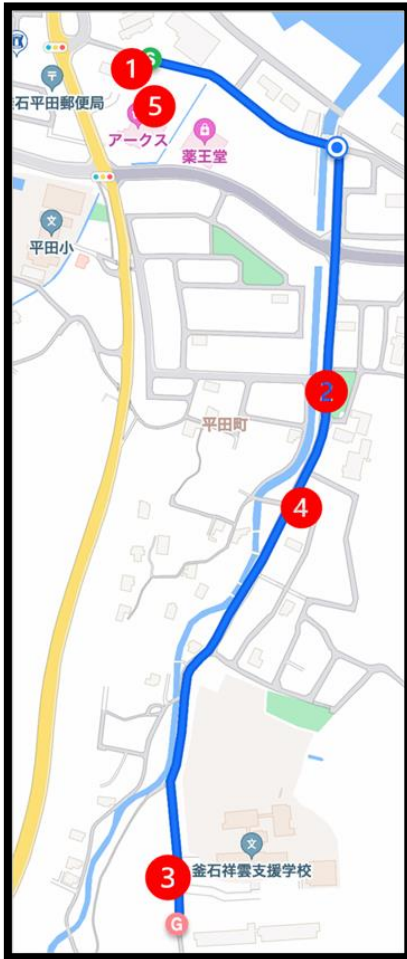
- ①「スーパーみずかみ・上平田ニュータウン」循環ルート



#### 〔選定理由〕

- ・三陸鉄道平田駅、上平田バス停（岩手県交通バスとコミュニティバスとの結節点）との接続が可能（既存バス路線のルートと重複しており周知に最適）。
- ・1,000世帯を超える住宅があり、買い物、歯医者、コンビニ、郵便局、平田駅、平田地区生活応援センターまで一定の距離があり、アクセス需要があると見込まれるため。
- ・平田ニュータウン内には自動販売機が2か所しか設置されていない。
- ・道幅が広く車道と歩道が分離されており交通量が少ないため自動運転に適している。
- ・高齢化率約32%と比較的若い地区であるが、移動の足が無い住民も一定数存在すると想定している。
- ・走行距離約4.0kmと実証実験には最適な距離である。

## ②「スーパーみずかみ・復興住宅」循環ルート



### 〔選定理由〕

- ・復興住宅(県営平田アパート)に発着する公共交通機関はコミュニティバスのみであり、買い物等の潜在的な需要があると推測したため。
- ・200世帯を超える住宅があり、買い物、歯医者、コンビニ、郵便局、平田駅、平田地区生活応援センターまで一定の距離があり、アクセス需要があると見込まれるため。
- ・交通量が少ないため自動運転に適している。
- ・高齢化率約40%であるため移動の足が無い住民も多いと想定している。
- ・走行距離約2.6kmと実証実験には最適な距離である。

## 4 実証実験に使用する自動運転バス



製造元：エストニア・Auve Tech (オーブテック) 社製 (2023年度日本で一番売れた自動運転バス)

定員：8名

最高速度：20km/h

航続距離：100~150km

ハンドル・アクセル・ブレーキペダル：無し

冷暖房：あり